

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年11月17日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100284		
法人名	有限会社 カサブランカ		
事業所名	有限会社 カサブランカ	ユニット名	
所在地	〒311-1204 茨城県ひたちなか市平磯遠原町17-14		
自己評価作成日	平成22年5月22日	評価結果 市町村受理日	平成22年11月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年7月9日	評価確定日	平成22年10月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者の方々と職員達が身内的な雰囲気、家庭的でアットホーム。
--------------------------------

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を把握するとともに、家庭的な雰囲気の中で温かなつながり大切に支援している。
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>昨年の外部評価で、事業所は運営方針を理念と捉えていたため、理念は作成していない。との指摘より、その後、職員一同、会議を開催し、理念を作成。現在、管理者と職員は、その理念を共有しながら、実践につなげている。</p>	<p>「家庭的な雰囲気のもと、地域社会や家族とのむすびつきを大切に支援します」を旨とした、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成するとともに共有し、実践に努めている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>近隣の散歩や買い物の際に、地域の人々と挨拶や会話を交わしながら日常的に交流している。</p>	<p>利用者は散歩や買い物時に地域の人々と挨拶を交わしたり、地域の祭りに参加するほか、自治会による公園の草取りや清掃活動など奉仕活動に参加し交流している。 事業所の行事に地域の人々を招待したり、中学生の体験学習を受け入れている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>地域のお祭りや自治会の奉仕作業に参加させていただいている。</p>	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<p>利用者やサービスの実際、取り組み状況等の報告や話し合いを行っている。又、運営推進会議の話し合いで、町内のゴミ・カン拾いや公園の草むしりなど、奉仕作業などの参加の実現や花見やドライブなどする時の良い場所を教えていただいたり、サービス向上に生かしている。</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、地域包括支援センター職員等の参加を得ている。 駐在所に行方不明など利用者の緊急事態に備え写真や名前などを知らせ協力依頼するとともに、更に連携が図れるよう会議への参加を働きかけている。 会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分らないことや、利用者様の様子など、電話でのやりとりや、市役所に出向いて担当者と話をしたりと、取り組んでいる。又、市町村担当者の方も、近隣まで来た時など、施設に気軽に立ち寄ってくれている。	管理者は電話や市に出向いて利用者の近況を報告したり、権利擁護や成年後見制度の利用について相談しているほか、市担当者も事業所に気軽に立ち寄り情報交換をするなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設勉強会等、代表者及び全ての職員が具体的な行為を正しく理解していると思います。又、転倒等の事故に対する同意書など、本人や家族に説明し、同意を得たりと、身体拘束をしないケアに全職員が取り組んでいる。	代表者及び全職員は玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、マニュアルを作成しているほか勉強会を実施している。 玄関は出入りを察知するためにチャイムが鳴るように工夫をしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法についても、施設勉強会を開催し、身体拘束の重大さが浸透している。又、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度についての研修に出席。又、ご利用者の方1名については、社協の地域福祉権利擁護事業を使っていた為、全職員も周知していると思います。今後も必要な方達に活用できるよう、勉強していきたいと思っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者の方や、ご家族が理解・納得を得られるよう、時間をかけて説明を行っている。又、ご利用者・ご家族等に不安等のある場合、お試し入居など、十分に納得していただいた末に契約を結んだりしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時、ご利用者・ご家族には、苦情相談（意見・要望）について、文章により明確に説明を行っている。又、玄関に意見箱を設置するとともに、日々の生活の中で意見・要望などがないか、職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出したりと配慮している	重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明している。 家族等の来訪時には話し易い雰囲気づくりや場面づくりに努めている。 利用者が意見や思いを外部者へ表せる機会として介護相談員を受け入れている。 家族等が意見等を出し易いよう広報紙を送付し、事業所の様子を報告している。	利用者の居室毎に用意されている訪問記録ノートに家族等の気付きや感想を記入してもらうなど、意見を汲みあげるよう工夫することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回]行っているカンファレンス時に職員の意見・提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は毎月1回カンファレンスを開催し、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設けている。 職員の意見を反映し管理者は勤務体制の実情を把握するとともに勤務し易いよう配慮しているほか、職員は働きがいのある職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成など、カレンダーを掛けており、職員が自由に休みを書き入れ、それによってシフト作りを行い、職員が働きやすいよう、向上心をもてるよう、整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自由に研修や福祉関係の試験などの参加が出来るよう、シフトの調整など、協力的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県地域密着型介護サービス協議会・茨城県老人福祉施設協議会・ひたちなか市社協などに入会しており、定期的な勉強会など交流する場があり、色々な情報や分からない事、困っている事、その他、勉強させていただいている。又、それをサービスの質の向上につなげられる為、非		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人によりそいながら、安心して生活出来るよう、日々、努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様によりそいながら、関係づくりに、日々、努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用段階時、ご本人・ご家族が何を必要としているのか？今後、どのようにしていきたいのか？良く話し合いをし、グループホームとして可能な限りのサービス提供の対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム全体が家庭的な雰囲気であり、職員も入居者の方も、皆、家族のような関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その時々においては、ご家族にも相談しながら、ホームだけのケアだけではなく、ご家族にも参加していただいたり、ご本人と共に支えていく体制で取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の思いを大切にし、お友達や馴染みの場所など、ご本人の訴えがある時などは、あらかじめ分かる所は、連絡を先にとるなどして、連れて行ってあげたり、遊びに来てもらったりとしています。	職員は利用者がこれまで大切にしてきた友人や地域の方、家族等との関係を把握している。 希望がある場合には利用者が墓参りに行けるよう付き添ったり、友人に会えるよう連絡を取り友人宅へ送迎したり、遊びに来てもらえるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気を時折話しており、ご利用者様同士、皆さん、助けたり、助けられたりと言う関係で生活を送っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族も高齢化していることもあり、様々な形でご家族に対しても、支援を行っております。近隣のご利用者の方が多いため、温かなつながりを大切にしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にし、決して無理強いせず本人のペースにあわせての、支援の体制作りに取り組んでいます。	職員は利用者との日々の係わりの中で、言葉や表情などから思いや希望、意向を確認するよう努めている。 意思表示が困難な利用者は、家族等から話を聴くとともに職員間で話し合い、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者一人ひとりの生活歴を把握するとともに、その時々場面においては、出来る事など、手伝っていただいたり、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ノートの記録や、スタッフによる報告など、現状を把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1度、カンファレンスを行っている。又本人・家族・医師・看護師の意見など、定期的に聞き、介護計画を作成している。	職員は利用者や家族等の意見を聴くとともに、日々の生活の中で気付いたことを毎月1回のカンファレンスで話し合い3ヶ月毎にモニタリングや評価を行い現状に即した介護計画を作成している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合や、利用者や家族等の要望が変わった場合には、現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルを用意しており、個人のケース記録をそれぞれ月別に記入している。バイタル・食事水分摂取量・口腔ケア・整容・内服薬点眼・排泄・気づきなど、その日の行動等、様々な角度からご利用者の方を、とらえて記入している。介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアの取り組みとしても、本人の要望に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り、柔軟な支援が出来るよう、日々、頑張っており取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中での奉仕活動やお祭り、近隣の方々とのコミュニケーションなど、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、日々、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に関しては、本人、家族の希望を大切にしている。又、受診後の報告など、電話連絡や必要に応じては、家族の付き添いなどの受診を行っている。かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	全ての利用者が協力医をかかりつけ医とし、定期的な訪問診療を受診するとともに、服薬や健康について相談するなど、適切な医療を受けられるよう支援している。 皮膚科などの診療科目は利用者や家族等の希望にそった医療機関を受診できるよう支援している。 家族等が付き添い受診する場合は、利用者の普段の様子や心身の状態を伝え適切に受診できるよう支援している。 受診結果は電話で家族等に報告するほか、家族等が付き添った場合は受診結果を記録し職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師等などと、日々の情報や、気づきなどを相談したりしている。又、適切なアドバイスや看護を受けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者との情報交換や、相談は常にしている。又、病院には、入院時から毎日、顔を出すようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族等との話し合いを行っている。又本人・家族等の要望を大切に、かかりつけ医と相談しながら、カンファレンスを開催し、職員との方針の共有をしている。その人それぞれに合った取り組みをしている。	看取り介護についての指針と利用者や家族等の同意書を作成している。 職員は重度化や終末期に向け利用者や家族等と話し合ったりかかりつけ医に相談し、関係者で方針を共有して支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力を身につけられるよう、カンファレンス時、必要に応じて勉強会などを開催している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々なケースのご利用者の方の、避難方法について、訓練を通して、全職員が身につけている。又、運営推進会議などを通じて、自治会長や民生員の方達とも話し合いを行ったりと協力体制を築いている。	事業所独自の避難訓練を実施したり避難経路を表示しているが、消防署立会いの避難訓練を実施するまでには至っていない。 2階の利用者をシーツに乗せスロープから引きずって非難させるのは困難であるなど、訓練で明らかになった課題を運営推進会議で話し合ったり、近隣住民に訓練への参加を呼びかけているが協力を得るまでには至っていない。 食糧品や飲料水、毛布等を防災袋に入れて備蓄している。	消防署立会いの避難訓練を実施するとともに、通報訓練や夜間想定での避難訓練を定期的実施することを期待する。 避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう運営推進会議などを活用し更に働きかけることを期待する。 避難訓練で明らかになった課題を記録し、次回の訓練に活かすことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応について、カンファレンス時に話し合ったりしている。又、日々のケアのなかで、誇りやプライドを尊重した言葉かけをしている。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけをしている。 個人ファイルは事務室の所定の書類棚に保管し、責任ある取扱いと管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定ができるよう、全職員がケアを行っている。又、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必要な場面においては、職員を手厚く配置したり、一人ひとりのペースを大切にし、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その都度、ご利用者の方と、職員が一緒になって、洋服を選んだり、さりげなく支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者のできる範囲で、食事の下膳やテーブル拭きなど、職員が一緒に支援している。	献立に旬の野菜や鮮魚を取り入れている。 利用者のできる範囲で下膳やテーブル拭きを職員と一緒にしている。 部屋が狭く職員は利用者と一緒に食事をするのは困難であるが、利用者のそばに立って付き添い会話を楽しみながらさりげなく支援し、利用者の食後に全職員で同じ献立の食事をとっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに毎日の栄養摂取量、水分量のチェック項目があり、全職員が周知出来るようになっている。又、一人ひとりの状態・力・習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。又、本人の力に応じた口腔ケアをしている。個人ファイルに毎日の口腔ケアチェック項目あり。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中・夜間の排泄状態について、個人ファイルに排泄の項目があり、排泄パターンを全職員が理解・把握しており、自立に向けた支援を行っている。	全職員が利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに時間を見計って誘導したり声かけし、トイレでの排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を全職員が理解している。おやつなども、なるべく手作りで、素朴ではあるが、ふかし芋など繊維物が豊富に含まれているような食べ物を工夫している。又、毎日の運動や散歩なども、個々に応じて取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、毎日行っている。入浴者の基本の順番はありますが、入りたい方は体調にあわせて、その都度入浴していただいています。入浴の長さは、個人の希望にあわせています。入浴時間については、ご利用者の方の疾病などもからみ、現在のところ日中に行っている。	毎日の入浴を支援するとともに、利用者の体調に合わせてバイタルサインチェックを行い安全に入浴できるよう取り組んでいる。 入浴を拒む利用者には入浴が楽しみになるよう、言葉かけを工夫し支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースにあわせて全職員がケアを行っており、夜間に関しても、目が覚めてしまうご利用者の方に対し、夜勤者が一緒に時間を過ごすなど、安心できるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、再三の注意をしているつもりです。カンファレンス時にご利用者の方の疾病の把握。それによる薬。又、その薬についての副作用などについての話し合いを行っている。個人ファイルにもその都度、新しい処方箋をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の方のペースにあわせて、ご自分の部屋や共有スペースのお掃除をしていただいたりしている。又、外食・買物・ドライブなど、気分転換等の支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	ご利用者の方の希望がある時は、出 来うる限り希望にそって、用事や買 い物など戸外に出かけている。	職員は利用者の希望にそって散歩 や買い物など戸外に出かけられるよ う支援している。 花見やピクニックなど季節毎に計 画を立て、出かけられるよう支援し ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	金銭管理は、施設側で行っていま すが、その時々によって（買い物、孫 などにあげる小遣いやお祝 い・・・）自由に使えるように、支 援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	ご家族に電話をかけたり、かかっ てきたりと支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	食事やお茶の場所が、ご利用者の方 達の集まる中心の共用空間となっ ており、自由に過ごす場所となっ ている。季節ごとの花を飾ったり、玄関 やフロアにソファを設置したりと 工夫をしている。	共用空間は清潔で適温に保たれ、 陽光はカーテンで調節している。 台所から調理の匂いがしたり、昔 馴染みの蚊取り線香の缶がさりげな く置かれ、生活感が感じられる。 玄関の花壇には季節の花が植栽さ れ、青蛙が飛び跳ねたり軒下につば めが巣作りをするなど季節が感じら れ、利用者は居心地よく過ごしてい る。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間として、食事やお茶を飲む場所がご利用者の方達の中心集まる場所ではあるが、その他にソファを設置したりして、独りになれたり、気の合った利用者同士お話し出来るよう、工夫に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるように、使い慣れた物や、馴染みのある物など、本人と相談しながら工夫をしている。	利用者は使い慣れた筆筒や小物、家族等の写真などを持ち込み、居心地よく暮らせるよう工夫をしている。 全ての居室に「笑顔ありがとう」と書かれた絵手紙風の小さな額が飾ってあり、温かい雰囲気を醸し出している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人と家族より承諾書をとっており、部屋の入り口に、名前を分かるようにだしてある。又、部屋の入り口に花や人形など飾り、混乱や失敗を防ぎ、安全で自立した生活が送れるよう、工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名            有限会社                       カサブランカ

作成日            平成22年11月11日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	訪問記録ノートを利用して家族等の意見を汲み上げる様工夫すること。	訪問記録ノートを利用して家族等の意見を汲み上げていきたい。	訪問記録ノートに家族等の気づきや感想を記入していただける様に記録ノートの工夫や作成をする。	1ヶ月
2	13	災害対策として、消防署立会いの避難訓練を定期的に実施すること。	消防署の協力を得た避難訓練を定期的に実施する。	運営推進会議を通し、年に1回、町内で行われる非難訓練に合同し、訓練を行う予定。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。